

(第1回) 契約変更の内容

契約変更年月日	令和7年3月31日	
契約業者名	横浜湘南道路トンネル西松・戸田・奥村特定建設工事共同企業体	
工事の名称	横浜湘南道路トンネルその4工事	
工事場所	自) 神奈川県横浜市戸塚区小雀町 至) 神奈川県藤沢市城南4丁目	
工事種別	一般土木工事	
工事概要 (変更した内容について記述する)	・一次覆工 増工 (合成セグメントの追加) ・付帯工 城南換気所 増工 (湧水対策工の追加) ・付帯工 白旗川 増工 (支障杭引抜工の追加) ・共通仮設費 事業損失防止施設費 追加 (土質ボーリングの追加)	
	当初	第1回変更
工期 (自)	令和6年10月1日	令和6年10月1日
工期 (至)	令和10年9月30日	令和10年9月30日
変更前の契約金額	¥86,603,000,000-(税込)	¥86,603,000,000-(税込)
変更金額		¥9,081,600,000-(税込)
変更後の契約金額		¥95,684,600,000-(税込)
当初より増額割合	—	110%
変更理由	1. シールド工 現地精査の結果、初期掘進機械の仕様に変更・追加が必要なことが判明したため、一次覆工を増工する。また、工事進捗に伴い、一次覆工 (合成セグメント) を追加する。 2. 付帯工 城南換気所 現地精査の結果、予想以上の湧水が発生したことから、湧水対策工を追加する。 3. 付帯工 白旗川 現地調査の結果、既設杭がシールド工に支障することが判明したため、支障杭引抜工 新白旗川を追加する。 4. 現地調査の結果、地下水位の確認が必要となったことから、事業損失防止施設費 (土質ボーリング) を増工する。 5. 工期 工期は元設計のとおりとする。	

(第2回) 契約変更の内容

契約変更年月日	令和8年1月30日		
契約業者名	横浜湘南道路トンネル西松・戸田・奥村特定建設工事共同企業体		
工事の名称	横浜湘南道路トンネルその4工事		
工事場所	自) 神奈川県横浜市戸塚区小雀町 至) 神奈川県藤沢市城南4丁目		
工事種別	一般土木工事		
工事概要 (変更した内容について記述する)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シールド工 増工 (避難連絡接続工の増工)</li> <li>・仮設工(シールド工) 減工 (仮設物の撤去取りやめ)</li> <li>・付帯工 城南換気所 増工 (湧水対策工の追加)</li> <li>・付帯工 城神明橋 減工 (仮設物の撤去取りやめ)</li> <li>・付帯工 白旗川 増工 (鋼矢板引抜の工法変更)</li> <li>・共有仮設費 役務費 増工 (借地料 削除)</li> <li>・共有仮設費 技術管理費 増工 (施工合理化等調査の追加)</li> </ul>		
	当初	当初	第2回変更
工期(自)	令和6年10月1日	令和6年10月1日	令和6年10月1日
工期(至)	令和10年9月30日	令和10年9月30日	令和10年9月30日
変更前の契約金額	¥86,603,000,000-(税込)	¥86,603,000,000-(税込)	¥95,684,600,000-(税込)
変更金額		¥9,081,600,000-(税込)	¥0-(税込)
変更後の契約金額		¥95,684,600,000-(税込)	¥95,684,600,000-(税込)
当初より増額割合	-	110%	110%
変更理由	<p>1. シールド工 現地精査の結果、施工時期を考慮し全体工程の短縮を見込むことができるため避難連絡接続工(開口部桁補強)を増工する。</p> <p>2. 仮設工(シールド工) 地元要望及び他工事との調整の結果、今後他工事にて使用予定であり本工事で撤去予定であった仮設工(防音壁支持杭、舗装)を残置することとなったため、土砂仮置場整備工(高架下ヤード)を減工する。</p> <p>3. 付帯工 城南換気所 現地精査の結果、発生した湧水量が予想よりも多く発生し湧水対応が必要なため、湧水対策工を増工する。</p> <p>4. 付帯工 城神明橋 他工事との調整の結果、城神明橋 小学校ヤードの仮橋について本工事で撤去予定であったが、隣接工事の切り回し道路として今後も使用予定であるため、仮設工を減工する。</p> <p>5. 付帯工 白旗川 現地精査の結果、周辺の重要施設の変位対策のため、仮設工を増工する。</p> <p>6. 共通仮設費 役務費 現地精査の結果、借地料について借地(関谷換気所)を削除する。</p> <p>7. 技術管理費について、土質試験費・施工合理化調査等を追加する。</p> <p>8. 工期は元設計のとおりとする。</p>		